

沼津市職員集合研修業務委託に係る質問への回答

質問番号	質問内容	回答
1	令和8年度より3か年計画での企画となったのはどのような背景・理由からでしょうか。	人口減少・DXの加速・社会課題の複雑化が進む中、人的資源の高度化と、体系的・実践的な職員研修の推進が一層求められております。単年度契約の集合研修では継続的な研修体系の構築が難しく、受託者の中長期的な提案や人材育成方針に沿った研修設計が不足するおそれがあります。これらを踏まえ、3か年計画とすることで、継続的かつ体系的な研修企画の実現、受託者による中長期的な提案と実行、そして人材育成方針に応じた研修運営が期待されるためです。
2	・別紙1公募仕様書「6実施方法等」のオンデマンド方式というのは、沼津市が指定した配信ツールを使用いたしますか？（弊社では通常MOOGA Plusにて提供しております）	配信ツールの指定はございません。
3	公開されている資料とは別に、各研修の仕様書はございますでしょうか。	各研修の仕様書はございません。
4	研修科目：「法制執務研修」 基礎編、応用編の対象に入庁2年目や主任級2年目相当との記載がありますが、入庁時に何らかの基礎学習はされているとの認識でよろしいでしょうか。	大卒入庁1年目相当、短大卒入庁3年目相当、高卒入庁5年目相当の職員を対象に、自治体法務検定公式テキスト準拠の研修を実施し、地方自治制度や地方公務員法等の基礎知識を習得しています。
5	(別紙3) 管理監督 > 研修区分 > 「専門・特別」という表記がありますが、この「専門」と「特別」とは、どのような区分でしょうか。	選択型研修とは異なり、コンプライアンス推進担当、新規採用職員の指導者等、受講対象者を限定した区分です。
6	キャリア・育成区分『Word・Excelスキルアップ講座』の初中級および上級のそれぞれについて、ご想定 of 難易度や特段の習得希望スキルがございましたら可能な範囲でご教示ください。	初中級：Word・Excelの基本スキルを有する者向けの研修とし、各種機能、業務に活かせる関数、見やすい表やグラフ作成のスキル、ピボットテーブルの基礎知識について学ぶ研修を想定しています。 上級：COUNTIF、SUMIF、IF、VLOOKUP等の関数を用いて目的に応じた数式を作成できるレベルの職員を対象に、応用的なWordの活用法、Excel関数の応用、ピボットテーブルの活用方法、初学者向けにVBAの概要、基礎知識や簡単なコードを学ぶ研修を想定しています。
7	キャリア・育成区分『Word・Excelスキルアップ講座』の研修会場における、各受講者のPCのネット接続環境についてご教示ください	本研修では、受講者用端末としてリモートデスクトップにより自席PC(LGWAN回線)へ接続する環境を想定しています。端末からの一般的なWeb閲覧は可能ですが、LGWANの運用上、Office製品が外部インターネットへ接続することはできないため、AI関数等の機能は利用できません。
8	キャリア・育成区分『ファシリテーション研修』の実施背景・理由や受講に管理監督者が含まれる可能性がある等、予想されるご参加者の属性情報についてご教示ください。	ファシリテーション力はどの所属においても求められる基礎的な能力であり、地域課題の多様化・複雑化に伴い、住民や他部署間の調整を効率的に進め、合意形成を図る力が一層求められているため、本研修を実施します。原則として、一般職員から監督職(係長級相当)までを対象に募集を想定しています。
9	4 研修の効果における「web研修メニュー」について、どのような目的やご活用方法をご想定でしょうか。可能な範囲でご教示ください(例えば、研修の事前事後課題とする場合、近隣市町との合同研修の対象となる研修については、受講者の方々は全員webによる研修することができる環境があるとの認識で正しいでしょうか。	研修のフォローアップを目的としたメニューや、受講者が時間にとらわれず視聴できるeラーニングを想定しています。近隣市町の職員もweb研修可能な環境であることを想定しています。
10	庁内で日常的に使用している生成AIツールはありますか？また、どのような使い方をされていますか？可能な範囲でご教示ください	LGWAN(総合行政ネットワーク)上で自治体AI「zevo」(ChatGPT等搭載)、インターネット上で行政向け生成AI「コモンズAI」を使用しており、行政文書作成の補助、データや課題の分析、企画立案等に活用しています。